



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

# The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「世を照らす光となろう」	“Be the Light of World”
アジア地域会長主題	「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」	“Years Bring Wisdom”
西日本区理事主題	「先頭にたつてワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」	
	“Let's Ysmen Light Shine before Others, in the Club, in the Community, in the World”	
中部部長主題	「前へ！声を掛け合い1」	“Go forward! Call Together”
金沢クラブ会長主題	「より楽しく・より豊かに 伝えようワイズワールド」	

2013

## 3 月間強調

EF・JWF

今日の聖句		3月強調月間	
いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。 テサロニケの信徒への手紙 I 16節～18節		お祝いや記念日には幸せのお裾分け、感謝の気持ちと共に献金しませんか。エンダメント基金(EF)国際協会へ、西日本区ワイズ基金(JWF)は西日本区へワイズダム発展の為に協力をお願いします。 岡野泰和ファンド事業主任 (大阪土佐堀クラブ)	
<b>3月例会 プログラム</b> と き 2013年3月21日 (Thu.) 18:30～20:30 ところ 金沢ニューグランドホテル 会 費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (ネット) 司会 澁谷洋太郎君 開会・点鐘 幸正一誠会長 主 題 司 会 者 ワイズ・ソング 一 同 今月の聖句 司 会 者 ハッピーバースデー 幸正一誠会長 ゲスト紹介 数澤輝夫君 食前の感謝 西尾一朗君 ～～～～ 会 食 ～～～～ スピーチ 西 信之氏 「ニニギノ命(皇室の祖)と 笠沙、宮崎、熊野と徐福伝説」 委員会報告 各 委 員 ニコニコタイム 高口 昇君 Y M C A の 歌 一 同 閉会・点鐘 幸正一誠会長		<b>2月 クラブ活動状況</b> <b>第1例会</b> (2月21日 Thu.) メ ン : 伊藤、数澤、高口、幸正、澁谷、西尾、山本 (7名) 出席率 : 88 % メネット: 伊藤、数澤、高口、澁谷、山本、山内 (6名) ゲスト: 松浦、清水、西 (3名) コメント: 西尾 (1名) <b>第2例会</b> (2月1日 Fri.) メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷 (4名) メネット: 数澤、山内 (2名) <b>ニコニコタイム</b> 13,500円 クラブファンド 累計 92,600円 <b>BFポイント</b> 切手 0 kg 累計 0 kg 現金 12,000円 累計 12,000円	
会 長 幸正一誠 書 記 山内健司 副会長 澁谷洋太郎 会 計 高口 昇 前会長 数澤輝夫 ネット会長 数澤淑子		第一例会: 毎月第三木曜日 18:30～20:30 金沢ニューグランドホテル Tel(076)233-1311 第二例会: 毎月1日 18:30～20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)	

## 山内健司ワイズを悼む

澁谷洋太郎

山内健司ワイズには2013年2月10日10時5分に神の御許へと旅立ちました。78歳に7日足りない生涯でありました。

私も金沢ワイズメンズクラブにとりましては、真に大事な人がいなくなるという皆が呆然となる出来事でありました。

ここ5年ほど腰の悪化による体調不良に悩まされ、その治療に一生懸命に取り組んでおられましたが、自分でも悔しい思いをされていたと思います。常に、神様からこちらに來いと声がかかったら、いつでも「はい」と答えて御許に行こうと話しの折々に話し合っておりました。

山内メンとは歳は1歳半、学年は2年違いの先輩でして、なんでも忌憚なくざっくばらんに話しておりましたので、いなくなった寂しさを人一倍に感じております。

山内メンとの思い出を少し

第1回西日本区大会（1998年6月13日～14日倉敷市芸文館）に日本区50回大会から西日本区大会になったからぜひ出席しようと倉敷へ出かけました。

岡山クラブの佐々木さんが初代理事で、1日目だけは真面目にと思ったのですが文化都市倉敷ですから、まず大原美術館、街並み探索に一生懸命でした。夜は倉敷の地酒の賞味です。

2日目は岡山に入り蕃山町教会の礼拝に出席です。蕃山町には金沢教会の伝道師であった阿部祐治先生が牧師ですから、旧交を温め楽しい時間を持ちました。

そして、第2回西日本大会（1999年6月19日～20日全日空ゲートタワーホテル）です。大阪河内クラブの伊藤さんが2代目理事です。関西空港の陸地にあるタワーホテルです、夜空に聳えておりました。

山内メンは地質学が専攻ですから2日目の朝から、関空の栈橋から連絡船に乗り淡路島に渡りました。阪神・淡路大震災のツメ痕の断層を見るためです。

まず、古事記に出てくるイザナミ・イザナギ神社からこれが島々を引き寄せて日本国の創めなのか、伊勢神宮のような規模もなくこじんまりとした神社です。そして断層の展示会場です1～2mの断層のズレです。いま原子力発電所の敷地内にあるといわれる断層の親方です。ハッとして息を飲みました。地震の話をしながらか帰路につきました。

山内メンはワイズ歴が豊富でしたが、部長、主任はやりませんでした。

私が2000～2001年に中部部長を引き受けた経緯は、金沢クラブから部長を出さなくてはならないことになり、先輩たちは澁谷・山内のどちらかが受けることで話し合いをしろとなり、山内メンに先手をとられ、「おれが書記をやるからお前が部長をやれ」と押し切られたためです。

山内メンは大変な頑固者でありました。部長の交渉でもそうですがこうと決めたら梃子でも動かぬところがあり、功罪両面ありますが功のほうが多かったと思います。

まったく良いほうの頑固だったので、混乱した局面をまとめる時に、本当に頼りになる存在でありました。間違いのない判断をされましたことは誇りであります。

残された我々は山内ワイズなきこの難局を皆が力をあわせて乗り切っていかなければと思います。

神よりの慰めが豊かにご遺族のうえに、我々一同のうえにありますように。



在りし日の山内健司メン

## 西 信之 氏プロフィール

九州大学理学部大学院卒。東京大学物性研究所助手を経て、大学共同利用機関岡崎研究機構助教授、九州大学教授を6年間勤めた後、大学共同利用機関自然科学研究機構教授・研究主幹、研究総主幹を務め、2011年3月で退職、名誉教授。1997年に総合研究大学院大学 本部葉山に物理科学研究科を創設し、初代研究科長を勤める。2011年4月から1年間 名古屋工業大学、2012年4月より金沢大学にて自動車会社数社と新日鉄住金化学との共同研究で燃料電池の電極材料の研究と、延岡での工業化を進める。

## 【2月例会報告】

10日前、30年来ワイズメンズクラブのメンバーとして交流を深めた山内健司君の逝去、前夜祈祷会、葬儀が執り行われ、再びこの世で相見ゆることはできなくなった寂しさを憶えながらの例会となりました。ニコニコタイムでは、一人一人が彼の思い出を語り、在りし日の彼を偲びました。

ゲストスピーカーのスピーチの概略は次のようでした。

観光物産館は昭和53年7月に開館。菓子屋、伝統工芸品店などが共同組合を作って出資してできたもの。当時は繊維と鉄鋼が力をもっており、観光は行政も力を入れていない分野であった。翌年ディスカバージャパンと銘打ってJRがポスターを作ったり、またその翌年には名神の高速道路ができ、観光客が増えた。バブルの時代、平成の声を聴くころから、急激に観光客が増え、平成3年の国体の時は我々にとっては最高の時代となった。兼六園も年間330万人の入園者があり、選手を応援する応援団が落とす金銭は大変なものであった。ところがバブルがはじけ、寂しい時代となったが、平成14年NHKの大河ドラマで利家を取り上げられたため、この年だけは140%弱の実績があった。県が金沢城の中に催し物会場を作り、私どもも小さな店を出したが、そこで14億円ほどの利益を上げることができた。観光バスが1日平均180台入った。それでも足りず、郊外まで駐車バスが並んだ。しかし、これが終わったとたんに観光客が激減。一度に大勢来ると、ホテル、旅館、レストランは満杯で十分な対応はできず、次の年からガタ減り。

その後平成19年3月能登沖地震の映像を何回も報道されるので影響が大きく、8、9月になっても戻らず、翌1、2月になってようやく観光客が戻ってきた。

平成20年東海北陸自動車道が開通し、名古屋、静岡からの観光客が増えた。翌年高速道路の料金が1,000円になったことから九州・東北・北海道のナンバープレートを付けた車が駐車場に一杯になった。ところがこれは1度降りるとそれで1,000円になるので、あまり降りずただひたすら走ってくるという感じで、あまりお金は使ってくれなかった。

次は2年後の新幹線開通。この2年間で私どもにとっての正念場。旅行社が2年後には金沢売れる、ということでこの2年間は他の地域を売ろうとしている。観光業種はだいたい5年くらいの緩やかなうねりがあるものである。

県からの情報によると、指宿温泉が前2年間、全然客が来ず、仕方なく従業員をリストラした。ところが2年後どんと客が来て、従業員が足りず、派遣で補ったが、サービスの低下、笑顔がない等苦情が出た。石川県ではそのようなことがないようにと言われている。

この業界にいて、すごいと思ったのは伝統工芸。36の工芸品が国や県の指定を受けている。これだけの工芸品が残っているのは全国で京都と石川県だけ。ピークの時は輪島塗を買いに東京からへりできて、輪島塗

を何百万円買い付けて、へりで帰って行ったという話もある。今はやはり落ち込んではいない。

この伝統産業が残ってきた要因は①歴史的なもの。前田家3代の藩祖利常が、徳川に対して謀反を起こさないということを知らせるため、京都から新進気鋭の作家を招き、象嵌・蒔絵などを作らせた。②は第二次世界大戦の被害に遭っていない。③は自然。材料の土が豊富にあったこと。漆の木があり、木地のあての木があったということ。友禅にはきれいな水（犀川、浅野川）、金箔を作る箔打ちの為の紙もきれいな水と適度な湿度が必要。この3つの要素がそろっているところが金沢のすごいところといえる。

しかし工芸品は年々売れなくなっている。開館当初は売り上げの45%が工芸品であったが、今は15%までに落ち込んでいる。これには作り手の方にも問題あり。補助金をもらうということがよくないのではないかな。

食品は元気。その理由の一つはお店が値段をこわさない。すなわち本店、デパート、駅、空港、小売店のどこへ行っても価格は同じ。

話は変わるが、石川県に年間2千万人を少し超える観光客がある。金沢市が800万。経済波及効果は1人5万円使うと1億円、金沢では4千万円。

県も観光には相当に力を入れはじめている。補助金も出している。

これから、受け入れ側としては、体験を含めた企画を考えていきたいと思っている。「来てよかった」と言ってもらえるように・・・。（文責 山内ミハル）

## ~~~~~お知らせ~~~~~

### ☆送金

Y'サ：12,000円 TOF：12,000円

合計24,000円を西日本区に送りました。

### ☆京都グローバル20周年記念例会

3月3日（日）リーガロイヤルホテル京都  
澁谷君が出席しました。

### ☆滋賀蒲生野・金沢合同例会

日時：4月6日（土）～7日（日）

場所：アルファー1ホテル（能登和倉）

登録費：15,000円

当日（4月6日）14：00「ゲンキ畝田店」駐車場に集合して出かけます。おいしい牡蠣を食べて、交流を深めましょう。

### ☆東日本区大会

日時：6月8日（土）～9日（日）

場所：花巻温泉 ホテル千秋閣

## ☆西日本区大会

日 時：6月22日（土）～23日（日）  
場 所：名古屋能楽堂  
登録費：20,000円

### Happy Birthday

メネット 数澤 淑子さん 3月4日

### 4月の担当

ブリテン執筆： 高口 昇君  
                  澁谷 節子さん  
卓 話 担 当： 数澤 輝夫君

原稿は3月25日までに山内までお願いします。

## ~~~~~ YMCAのお知らせ ~~~~~

### ☆早天祈祷会

日 時 2013年4月1日（月）6：00～  
場 所 金沢YMCA集会室

### ☆スキー教室

2月16日（土）金沢YMCA雪ん子キャンプが白山一里野温泉スキー場で行われ9名の小学生が参加しました。前日からの降雪でゲレンデは最高のコンディション、スキーは初めての子達もリフトに乗って滑るまでになりました。



## ~~~~~ メ ネット 報 ~~~~~

### “ヤマケン”の思い出

去る2月10日に我が金沢クラブの重鎮として活躍された山内健司メンが天に召されました。4日の第二例会の時、ミハルメネットより厳しいご容体と伺っていましたが、こんなに早く訃報に接するとは思いませんでした。謹んで哀悼の意を表します。

“ヤマケン”として慕われ敬愛されていた山内メンのことを思い出すまま綴ります。記憶が曖昧な部分もあるかも知れません。そもそも「山内健司先生」としてより“ヤマケン”としての名声が私には先だったように思います。古い話になりますがサンパチ豪雪と言えば、北陸の人なら忘れられない思い出の一つや二つあると思います。私にはその一つが“ヤマケン”でした。私が所属する金沢南部教会（当時は金沢南部伝道所）の古川牧師夫妻が時々息子（医者）の話を読まれたのですが、その友人の中に必ず、“ヤマケン”なる名が登場するのです。 “ヤマケン”でどんな人だろうと興味津々、「ヤマケンが屋根雪おろしにきてくれたぞね」と嬉しそうに牧師夫人、未曾有の38豪雪は小さな伝道所が雪の中にすっぽり埋まるほどで、信徒も少ない伝道所は途方に暮れていたのです。すべての交通手段が断たれ、誰もが自分のことで精いっぱい、そんな中、窮状を察して屈強な若者だった“ヤマケン”がスコップ担いでもちろん徒歩で屋根雪降ろしの応援に来て下さったのです。「男の友情って素敵」と思ったものです。

後年、骨折された後も専門違いなのに義理堅く古川医院に掛かっておられたようです。その古川先生も先に故人となられ、古川医院も今は更地になっています。今頃天国で旧交を温めていらっしゃるのでしょうか。

次に思い出深いのは2000年のオーバーアマガウの受難劇を観るツアーで一緒したことです。金沢からは山内夫妻、澁谷夫妻、私たち夫妻、そして私の友達2人が参加、東欧、ドイツを旅した時のことは生涯のよき思い出となりました。受難劇観劇が主目的でそれは素晴らしい感動的な野外劇でした。旅行中の楽しいエピソードは数々あるのですが、旅も終わりに近づき、美味しいワインに酔い痴れて思い出写真を撮り合っている時、ヤマケン先生突然奥様の腕を捕まえてカメラマンに「おい、わ、わしら帰ったら離婚するさけ、記念に2人の写真撮っとけ」と命令、素直に「ツーショットを」と言えいいものを、男の沽券に関わるといふか照れくさかったのでしょうか。愛妻家なのに人前ではぶっきらぼうに関白さまぶるところは時には可愛くさえ見えるのでした。

こよなくお酒を愛し、楽しいお酒の方でした。飲むと雄弁になって若き日の思い出話に花が咲き、辛口の批評が飛び出すこともありました。山中温泉「花つばき」での中部合同メネット会でのこと、宴会も終わりに近づいた頃、突然ヤマケン先生が前に進み出て歌った「山中節」は忘れられません。

懐かしい思い出は枚挙にいとまがありませんが、先生が本当に大切なことは何かをご自身の信仰生活を通して示してくださったことを感謝したいと思います。今年度、金沢クラブは昨夏山谷澄メン、そして今山内健司メンと大切なメンバーを2人も天に送り寂しい限りですが、ワイズ魂を貫いた先人の遺志を継いで雄々しく前進しましょう。メネットは肅々と後について行くのみです。  
(数澤 淑子 記)